



ふじみだい



2021年 新年に寄せて

校長 山本 加奈代

感染拡大が収まらぬままの年明けとなりました。例年とは全く違うお正月を過ごされた方もきっと多かったでしょう。しばらくは、ウイルスと共存する生活が続きますが、子どもたちが未来に向けて希望をもって進んでいけるように、先を見据えた一步を踏み出す一年にしていきたいと決意を新たにしました。

保護者や地域の皆様には本校の教育活動にご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、昨日、神奈川など1都3県に緊急事態宣言が再発令されました。ただし、学校は一斉休校を行わず、これまで通り感染防止対策を徹底して実施していくという方針です。学校としては、より気持ちを引き締めていかなければなりません。子どもたちが安心して学校生活を送れるように、健やかに学ぶことができるように、全教職員で感染防止対策とていねいな指導や支援を行っていきます。また、子どもたち自身が感染防止の意識向上をさらに図っていかなければなりません。各家庭での取組も必須です。検温や体調管理等へのご協力をお願いいたします。

先日、あるテレビ番組に出演していた歴史作家の塩野七生さんが、コロナ禍の状況を次のように話されていました。「今の世界は、歴史の『踊り場』に立っている。」「踊り場で、息を整えている。」踊り場とは、階段の途中にある平らな場所のことですが、世界の国々が次の階段を上がっていくために、この踊り場で新しいウイルスについて情報を集め、対策を練り、克服したり新しい生活様式に合わせて努力したりしていることを表現しているのでしょうか。

今年度の運動会等の学校行事の実施にあたっては、例年以上に教職員とねらいを確認し、どんなことができるのかを話し合ってきました。また、子どもたちの声をていねいに聞き、一緒に取り組み、新しい生活様式に合った学校行事を模索してきました。アンテナを張って情報収集し、子どもも教職員もどんなことだったらできるのかを探してきました。新たな取組を実行するには、かなりのエネルギーを要します。しかし、コロナ禍での困難な状況の中、特に子どもたちはポジティブな考えをもって取り組んでいました。できることを喜びと感じ、今までにない力を発揮する姿も見られました。だからこそ、私たち教職員はこの時期を逃さず、児童が本気になって考え、主体的に取り組めるようにしなければなりません。子どもたち同士が学び合い、互いにケアし合って、心地よく過ごせる学校を創っていけるようにしていきたいです。今年、丑年です。牛は昔からわたしたち人間の生活に欠かせない動物で、よく働き、勤勉で誠実な動物とされています。富士見台小学校も、児童と教職員が一体となって一つ一つ積み上げていく一年にしたいと思います。